

学習指導要領		都立世田谷総合高校 学カスタンダード
(1) 現代に生きる自己の課題	<p>自らの体験や悩みを振り返ることを通して、青年期の意義と課題を理解させ、豊かな自己形成に向けて、他者と共に生きる自己の生き方について考えさせるとともに、自己の生き方が現代の倫理的課題と結び付いていることをとらえさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第二の誕生、周辺人、モラトリアム、アイデンティティの確立といった概念を通して、青年期の意義と課題について理解する。 ・青年期における自我のめざめについて理解し、自分自身の心理についての考察を深め、自らの心を守る防衛機制の働きについて理解する。 ・青年期にアイデンティティを確立するには、自分らしい生き方を求める個性化と、集団や社会に適応する社会化との調和が重要であることを理解する。 ・マズローの欲求階層説を基に、人間は自分自身を成長、発展させ、自己実現を図ろうとする欲求をもつことを説明できる。 ・身近な人間関係を通して、他者とのかかわりにおいて生きることの大切さや他者を一人の人間として尊重することの大切さを知る。 ・現代の倫理的課題として、例えば、非正規雇用労働の増加などを取り上げて、現代の若者の雇用をめぐる諸課題が、同時代を生きる自己の生き方とも密接に結び付いていることに気づく。
(2) 人間として生きる方	<p>自己の生きる課題とのかかわりにおいて、先哲の基本的な考え方を手掛かりとして、人間の存在や価値について思索を深めさせる。</p> <p>ア 人間としての自覚</p> <p>人生における哲学、宗教、芸術のもつ意義などについて理解させ、人間の存在や価値にかかわる基本的な課題について思索させることを通して、人間としての在り方生き方について考えを深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・哲学はより良く生きることを、宗教は人間存在を超えた崇高なものを、芸術は美をそれぞれ希求することで、「人間としての自覚」を深める精神の営みとなることを理解する。 ・古代ギリシアの代表的先哲とその思想について理解する。 ・古代ギリシアの代表的な先哲、ソクラテス、プラトン、アリストテレスの思想について、「無知の知」・「善く生きる」、「イデア」、「友愛」などのキーワードとともに理解する。 ・啓示宗教の特徴について理解するとともに、民族宗教としてのユダヤ教の特徴やその歴史的展開について知る。 ・イエスの思想について、「神への愛」「隣人愛」などの基本的な概念を理解するとともに、死後に「復活」したイエスを神の子（メシア）とする信仰が生まれてキ

学習指導要領	都立世田谷総合高校 学カスタンダード
<p>イ 国際社会に生きる日本人としての自覚</p> <p>日本人にみられる人間観、自然観、宗教観などの特質について、我が国の風土や伝統、外来思想の受容に触れながら、自己とのかかわりにおいて理解させ、国際社会に生きる主体性のある日本人としての在り方生き方について自覚を深めさせる。</p>	<p>リスト教が誕生したことを知る。また、パウロらの伝道によってキリスト教が世界宗教として広がる基礎が築かれたことを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イスラム教の誕生およびムハンマドの言行や「六信・五行」などの理解を通して、ムスリムの日常生活や基本的な価値観を理解する。 ・仏陀の説いた「四苦」、「八苦」、「煩惱」などの諸概念と、それらを克服し、涅槃に至る方法としての「八正道」について理解する。 ・仏陀の生涯について知り、仏教の説く「縁起」の思想や、日本人の生活の中に定着している仏教文化について理解する。 ・一神教徒と多神教について、発祥した地域の自然条件や社会的背景などとの関係で、その相違点を説明できる。 ・孔子や孟子の言行について知り、孔子が説く他者を愛する心や思いやりとしての「仁」や、他者を敬う態度やふるまいとしての「礼」について理解する。 ・老子や孟子の「無」の思想について理解し、その価値観が日本だけでなく西洋にも影響を与えていることに気づく。 <ul style="list-style-type: none"> ・日本人の自然観は、モンスーン型の気候を背景に形成され、自然への畏敬の念や自然と融合した生活が重視されてきたことを知る。 ・古代日本人の宗教観や人間観について、「古事記」や「日本書紀」、「万葉集」などを踏まえて説明できる。 ・我が国における仏教の受容について、聖徳太子による仏教導入、国家仏教の成立、日本独自の仏教の発展、民衆の暮らしと仏教のかかわりなどについて知る。 ・仏教とともに大陸から伝来した儒教は、江戸時代に幕藩体制を支える学問として重用され、封建的な身分秩序を思想的に根拠付ける役割を果たしてきたことを知る。 ・和辻哲郎が唱えた「風土」の考え方を基に、モンスーン型の風土に生きる日本人の自然に対する受容的、忍従的な性格について理解する。 ・平安仏教における最澄と空海の思想の相違や、鎌倉新仏教における自力と他力の信仰の相違などに着目し

学習指導要領		都立世田谷総合高校 学カスタンダード
<p>(3) 現代と倫理</p>	<p>現代に生きる人間の倫理的課題について思索を深めさせ、自己の生き方の確立を促すとともに、よりよい国家・社会を形成し、国際社会に主体的に貢献しようとする人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる。</p> <p>ア 現代に生きる人間の倫理 人間の尊厳と生命への畏敬、自然や科学技術と人間とのかかわり、民主社会における人間の在り方、社会参加と奉仕、自己実現と幸福などについて、倫理的な見方や考え方を身に付けさせ他者とともに生きる自己の生き方にかかわる課題として考えを深めさせる。</p> <p>イ 現代の諸課題と倫理</p>	<p>て、我が国で独自に発展した仏教の各宗派の特徴的な考え方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国における国学の発展について、賀茂真淵による万葉集の研究や本居宣長による古事記の研究を中心に、人間の在り方生き方に「もののあはれ」や「真心」を重視したことに気づく。 ・我が国における近代化の特徴について、西洋文化の受容という観点から、「和魂洋才」の発想や、福沢諭吉の「実学」、内村鑑三の「二つのJ」などの考え方について理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・人間が自らの自由意思で自己を形成し、自己の内面における信仰に忠実に生きることに人間の尊厳の根拠があることについて、ルネサンス期の思想家や宗教改革の指導者らの言説を通じて理解する。 ・科学革命の先駆者や、イギリス経験論、大陸合理論の系譜に連なる先哲の思想が、現代の科学技術の成立とその発展に寄与したことを理解する。 ・西洋における民主社会の形成とその発展について理解するとともに、社会契約説の考え方を踏まえて市民革命等の歴史的事象を説明できる。 ・ヘーゲルやマルクス、功利主義の思想家などが、近代市民社会の諸矛盾を解決するために打ち立てた思想について、当時の社会状況を踏まえて理解する。 ・ロールズやA.センの考え方などを基に、社会全体の幸福を増大させる、公正な社会を実現するための諸原理について知る。 ・近代の理性中心的な考え方を問い直し、個人が自己の主体性を回復することの重要性を説いた実存主義の考え方について知る。 ・社会的弱者への奉仕活動に尽力したマザー・テレサの生き方などを通じて、現実の社会生活の中で人間尊重の精神を具現化することの困難さや尊さについて理解する。 ・生殖技術や出生前診断、生命維持治療など、医療技術の進歩によって生じる新たな課題を多面的に捉え、従

学習指導要領	都立世田谷総合高校 学カスタンダード
<p>生命、環境、家族、地域社会、情報社会、文化と宗教、国際平和と人類の福祉などにおける倫理的課題を自己の課題とつなげて探究する活動を通して、論理的思考力や表現力を身につけさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる。</p>	<p>来の生命観・死生観のみでは対処できない問題が生じていることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球環境問題を考察するための土台として、地球の有限性、世代間倫理、自然の生存権の3点を重視した環境倫理の考え方を理解する。 ・少子高齢化が急速に進展する中で、子育てや介護の問題が、家族や地域社会を越えて、国の重要な政策的課題になっていることを理解する。 ・現代における国際問題の解決を図るためには、地球的な視野に立った国際協調の精神が不可欠であることを国際憲章などを基に理解する。 ・メディア情報が生み出すステレオタイプや、疑似イベントの危険性など、負の側面にも触れて、情報社会の進展がもたらす影響を知る。 ・異なる文化や宗教をもつ人々が、相互の差異を認め合い、共生していくことを指向する多文化主義の考え方について理解する。

教科：公 民 科目：倫 理